

【第2回総合計画策定委員会】

■日時：2022年5月26日（木）15:30～17:30

■場所：中城村役場会議室 2-3

■出欠：

- ・出席10名：副村長、総務課長、企画課長、産業振興課長、まちづくり課長、税務課長
こども課長、教育総務課長、健康保険課長、議会事務局長
- ・欠席6名：都市建設課長、福祉課長、生涯学習課長、上下水道課長、住民生活課長、会計室長
- ・事務局：企画課、ST

■次第：

1. 開会
2. 報告事項
 - ①前回の審議会について（参考資料1）
 - ②アンケート調査をベースとした課題認識について（参考資料2）
3. 検討事項
 - ①総合計画基本構想について（資料1）
 - ②西原バイパス整備に伴う土地利用方針について（資料2）
 - ③村の目標人口について
 - ④村民の意見を取り入れる方法について
4. その他
5. 閉会

■議事録：

①アンケート分析について

・特に意見なし

②基本構想について

【目標人口について】

- ST 森口 : 社人研の推計値によると 2033 年の人口予測は約 24,000 人となっている。ただし、南上原地区の用地の残りの問題や、斜面地における緩和区域の縮小などの状況があるので、24,000 人の妥当性をご議論いただきたい。
- 副村長 : 人口の受け入れについては、西原バイパスの開発に伴う土地利用をどうするかや、久場の特定保留地を解除した場合で変わってくると思う。一方で村長が要望している中部広域への移行についての結論もこの 10 年で出ると思う。個人的には 24,000 人は妥当ではないかと思う。
- 総務課長 : これまでの人口の伸び率を考えると 24,000 人より上回ることが想定できるが、沖縄県としては 2035 年で減少に転じているので、総合的に考えると 24,000 人は妥当だと思う。人口が伸びるために難しい要素もあるが、目標に向かって施策の展開する方が良いのではないかと。
- 産業振興課長 : 今後南上原でどのくらい伸びるのか。下地区については西原バイパスの整備があるが、それに伴っての住宅整備や極端な人口増加は難しいと思う。西原から伸びてくるのであれば住宅ではなく工業地帯の可能性もある。今後 2~3 年は伸びていくだろうが、現実的に今のままでは 2000 人増加は難しいと思う。ただ南上原があとどれだけ伸びる要素があるかによって 2,000 人増加はできるかもしれない。そうであれば 24,000 人はできない数字ではないと思う。
- 企画課（比嘉係長） : 4 月末時点での村の世帯人口は 2.4 人なので、2000 人増やそうと思うと 800 世帯増やす必要がある。また南上原は 91%が使われているので、残りの 9%にマンションが出来るのか戸建てが建つのかでまた変わってくる。
- ST 森口 : 南上原の未利用地にタワーマンションができれば、2,000 人の収納は不可能な数値ではないと思うが、残り 9%になっても残っている未利用地が事業者に対して魅力的な土地かどうかという問題はある。個人的には目標値を実現しなければならないだけでなく、実現を目指した施策を村が打つかどうかだと思うので、24,000 人という数値を掲げることで、それに向かって必要な施策を各課で打たなければならない。逆に目標を 22,500 人とかにするのであれば、定住促進等に関する施策はトーンが下がってくると考えられる。
- まちづくり課長 : 24,000 人は妥当だと思う。社人研の数値からもかけ離れているわけではないし、受け皿を考えると高み感は否めないが目標は持つべきだと思う。目指す目標として施策を打ってみて、それでも達成できなければ、中部広域移行への理由付けにもなると思う。
- 産業振興課長 : 24,000 人は妥当だと思っているし、家が作れる環境を整備しなければならないというのは、一番大きな部分だと思う。
- 税務課長 : 令和 2 年度の新築家屋 100 棟前後。令和 3 年度も同じくらい。35%が南上原で残りはそれ以外。ただ南上原に来年 2 棟タワーマンションが出来る。2 つで 150 戸くらい入る予定。分譲。まだ南上原に集中している感じはあるが、住宅地は南上原だけではないし、それ以外の土地も毎日のように土地利用の確認の電話がくる。業者から既存宅地の確認の連絡も多く、中城村の需要はまだ高いと思うので、24,000 人くらいはいくのではないかというイメージはある。
- こども課長 : 庁舎の南側にこども園が新築中で 200 名規模の園が R 5 に開園予定。現在の待

機児童は1ケタなので、新たに子育て世帯が増えても受け入れることができると思う。ただし今の所この園で新設は終了する予定。

ST 森口 : 県の人口が2035年でピークなので、他が減少しているのに中城だけが増え続けるというのは現実的ではない。どこかで減少に転じるポイントがあると思う。が、既存宅地への住宅ニーズもまだ高いという話もあり、ひとまず令和15年の目標人口は今の議論を基本に24,000人で上にも諮っていく方向にする。

【将来像について】

ST 森口 : 将来像の案を3つお持ちしている。これで決めてくださいではなく、これをタタキにして新たな案を出してもらってもいい。まずはパッと見てどれがいいと思うか挙手でご意見をいただきたい。→案①5名、案②4名、案③1名
挙手で答えた意見について、コメントをいただければ。

健康保険課長 : 案①。高齢化社会であるし、地域でも老人会が活発。障がい者も増えているので、心が豊かであれば、みんなにやさしくなれるのでは。

議会事務局長 : 案②。暮らしやすいをテーマにする。アンケートの課題を解決していければと思う。

産業振興課長 : 案③。大きなタイトルを見ると、案①は前からの続きな感じ、案②は今いる住民だけを向いている感じがする。細かい内容はともかくとして、看板であれば案③。

まちづくり課長 : 説明の内容をみて案②を選んだけど、掲げるお題としては案③がインパクトがあって良い。これを掲げて細かい内容は3つを網羅してというのが一番いいと思う。案③はインパクトがあるし、端的で分かりやすい。

ST 森口 : 案③は他の市町村にはあまりないと思うので、インパクトはある。「とよむ」という言葉は第3次、第4次で大切にされてきた言葉だと思うが、この言葉を第5次に繋いでいく必要性はどうか。「とよむ」という言葉は市内、村内含めて定着しているものなのか。

企画課（比嘉係長） : 村民に定着しているのか。とても良い村と思っている人がいる。

産業振興課長 : 村民にちゃんと定着はしていないのではないかという感覚はある。

総務課長 : 意味がちゃんとわかっているかはともかく「とよむ中城」という言葉は定着していると思う。下水のマンホールに書いているし。

ST 森口 : すべてを変える必要はないので、大事にしているテーマや言葉は残していくべきだと思う。子どもたちの理解はどうか。護佐丸学だけに限らないが、伝えていくキーワードの一つとして重要な意味をもつと考えるか。

教育総務課長 : 聞いたことのない子どもはいないと思う。意味がわからなくてもそれをきっかけに調べてくれることもあると思うし、残してもいいのでは。

ST 森口 : 今日の意見を聞いて審議会に1案出そうかと思っていたが、今日の議論をふまえて審議会でも議論してもらおうと思う。とよむ中城という言葉は大切にしたい。審議会と策定委員会の議論を整理して、再案を見ていただこうと思う。

【基本理念について】

こども課長 : 都市基盤という表現は第4次の時からあったか。

ST 森口 : 第4次の時からあった。前回の大綱の方が何をしないといけないかが明確なので分かりやすいかもしれない。

こども課長 : 職員目線からすると、第4次の時の方が自分がどこを見ればいいのか分かりやすいが、村民はどうだろう。

- ST 森口 : もう一点、今後1つの施策について課が横断的に取り組む必要があるものがあると思う。そうなったときには、第4次のように「どこの課がここを見て何をやる」ではなく、「何を実現するために基本理念に基づいてこういうストーリーの施策を展開する」の方が横断的な取組みや連携が見やすいのではないかという意図もある。
- 産業振興課長 : 捉え方だと思うが、社会をつくるという表現がいくつかあるが、もっと大きな政治的な感じがする。中城の総合計画なのでむらをつくる、中城をつくるという表現の方がいいのでは。
- ST 森口 : 言葉の精査は行っていく。
- まちづくり課長 : 言葉の表現だが、姿2：誰もが笑顔で元気に…の後に「豊かさ」を入れるとより分かりやすくなると思う。姿4：安定した都市の基盤だけではなく、安定して住みやすい暮らしやすいという表現の方が良い。
- ST 森口 : 目指す姿が並んだ時に、読んだ人がイメージできるようにした方がいいと思うので調整する。方向性としては、全体のつながりを意識しながら分かりやすさを念頭においたものに更新していく。今の案をベースに審議会やパブコメの意見をふまえて修正等をいれていく。

③西原バイパス周辺土地利用の取扱いについて

- 企画課（比嘉係） : 都市マスと農業振興ビジョンで土地利用に齟齬が出ている。ちなみに第4次総合計画では農振地域で設定されている。これについてのご意見をいただきたい。
- ST 森口 : 現状では都市マスの将来都市構造だけが異質になってしまっている。
- 産業振興課長 : 和宇慶土地改良区域は奥間まで入っているので、それを含めて考えていけばおかしくはないのでは。議論の範囲を和宇慶、南浜、北浜だけにするのか奥間まで入れるのかで変わってくるのでは。
- ST 森口 : 都市マス策定の時は、今後の土地利用やプロジェクトで面的な整備の可能性がある地域が村内にどれくらいあるのかを検討して決めている。その時は南浜、和宇慶については住居系の土地利用にはならないだろうという議論だった。西原の工業系用途と連担して工業系の市街化編入にする可能性はバイパス整備に付随してあるだろうということで、こうなっている。具体的に農地のどこの部分をサブ拠点に位置付けるかという議論まではできていない。
- まちづくり課長 : 農業振興ビジョンの策定の中で都市マスとの整合をとったかは分からない。都市建設課、産業振興課、まちづくり推進課など関係課をまず集めて話をしてみる必要があるのでは。齟齬があるのは確かなので調整する必要はある。各計画の策定経緯も含めて、早めに協議をする場を設ける必要があるのではないか。
- 企画課長 : どの計画でも土地利用についての計画が入っているようなので、それも含めて庁内での会議は必要になってくる。関係課で集まって協議したいと思っているので、ご意見をいただきたい。総合計画は最上位なのである程度まとめたものにする必要がある。
- 産業振興課長 : 西原道路については6月には設計があがってくる予定になっている。南風原バイパスができた反響が大きくて、こっちももっとスピード感をあげて進めるとい話になっている。土地利用検討委員会なりで、検討する必要があるのでは。地域住民の望みは工業地帯ではないと思う。一番の望みは住宅地だと思っている。久場・泊の辺りは工場地帯かもしれないしよくわからないが。西原バイパス周辺については整合性が取れていないという事なので、どこかで関係者が集まって確認する必要性はあると思う。
- 副村長 : 現行の那覇広域都市計画の中では連担しないと市街化ができないというのは決まりなので都市マスはそうなっているのだと思う。工業用地もいろいろあるが、

住民の方が納得する方向で話を進めないといけない。

ST 森口 : 現行の那覇広域との関連で工業地帯ではなく、西原バイパスができてインフラが整った中で開発可能性が高いのではという視点はある。インフラに基づいて開発を進めるかどうかという議論は必要だと思う。早急に関係課を交えた土地利用検討委員会を開くという事で今回は納めたいと思う。

④目安箱設置について

税務課長 : HP や各課の代表メールに連絡があれば回答はしている。

ST 森口 : 1対1ではなく、誰かの質問に対する回答を村民みんなで共有できるようにしたいということだった。

まちづくり課長 : 個人が特定できないようにしたり、質問した人に開示していいかを確認したらオープンにしてもいいのでは。

総務課長 : 質問に対しての回答をしたうえで、それを他の人が見ることができる仕組みは良いのではないか。対応が難しくなることはあるかもしれないが、せっかくの意見なので回答をすることは必要ではないか。ただし HP だけでやってしまうと、見ることができる人とできない人の差が出てしまうので、そこは考えたほうがいい。

まちづくり課長 : 出来る人はHPの意見箱などでやっている。それができない一部の人のために公民館に目安箱を置いたとして、どれだけの意見が入るのか。目安箱的なものを役場に置くのはいいと思うが、各字の公民館に置くというのは管理の面からしても現実的ではないような気がする。

総務課長 : 役場にはおいておくべき。役場に来て感じることもあると思うので、ない方がおかしいと思う。将来的に各公民館に広がっていければより良いかもしれないが、今、一斉にやるには懸念点もある。

ST 森口 : 手法は今後考えるが、今日の会議の内容として、制度としての仕組みづくりは問題ないという事で、審議会には報告する。

あと村民の生活の豊かさを図る指標としての満足度を図ることを提案しているが、今度、村と村民の相互のやり取りをシステム化していくことによって、セットで考えることができるのではないかと思う。

まちづくり課長 : 満足度調査は必要だし続けていくべきものだと思うが幸福度も調査してほしい。

ST 森口 : 満足度や幸福度を数値で調査するのは簡単だが、その根拠がわからないと改善のしようがないという意見もある。先ほどの議論であった、村と村民の相互のやり取りをするシステムが充実していけば、そこから拾えるものがあるかもしれない。そのためには意見や要望だけでなく、村に対して良いと思ったことなども投書して良い仕組みにしてはどうかとも思っている。

企画課（比嘉係長） : 他にも気づいたことなどあれば、メール等で送ってらえたら。

産業振興課長 : パブコメが流行っているが、回答しにくいなーと思うことがあるので、回答しやすい方法を考えてもらえれば。

ST 森口 : 最後のパブコメはロビーにパネルを貼って意見を書くようなポスターセッションのような方法は考えている。12月の議会前に。

副村長 : 今日は9名の参加だが、村の大事な総合計画について協議する場であるし、事業にも関わってくるものなので、調整して出来るだけ出てきてもらいたい。どうしても難しい場合は書面でもいいから意見を出してもらえれば。

－終了－